

# ビジネス ハイライト

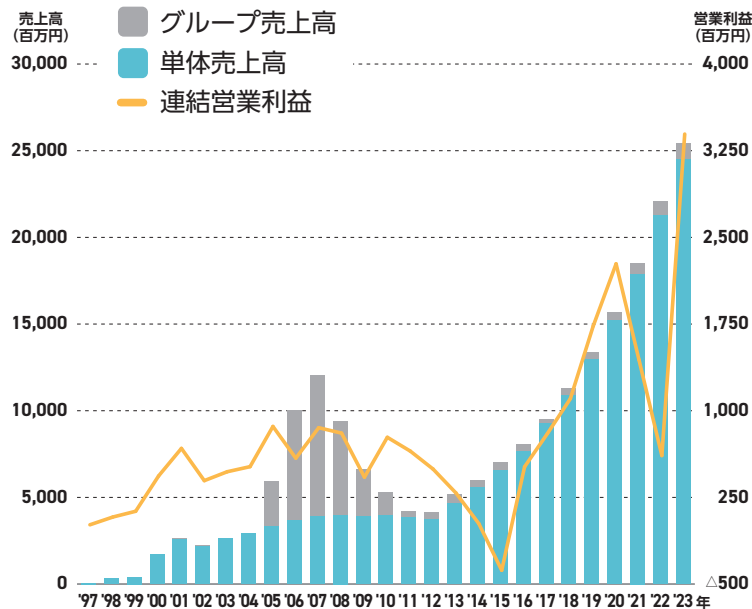
2023年12月期  
(2023.1.1~2023.12.31)

2024年2月27日開催「サイボウズ株式会社 2023年12月期決算・事業説明会」のアーカイブ動画・資料は右のQRコードよりご覧ください。  
<https://cybozu.co.jp/company/ir/briefing/>



2023年12月期におけるサイボウズ株式会社は、連結売上高25,432百万円(前年比+15.2%)、営業利益3,394百万円(前年比+454.9%)となりました。サイボウズ製品の契約ユーザーライセンス数は280万人を更新し、企業理念「チームワークあふれる社会を創る」の実現に向けてユーザー拡大に努めるとともに、クラウド事業、エコシステム戦略により一層注力してまいります。

## ■ 連結売上高・営業利益推移



## ■ 連結業績推移 [単位:百万円]

	2022年 12月期 (実績)	2023年 12月期 (実績)	2024年 12月期 (予想)
売上高	22,067	25,432	28,730
営業利益	611	3,394	3,097
経常利益	987	3,579	3,142
当期純利益	66	2,488	2,028
1株当たり 当期純利益	1.45円	52.29円	42.57円
1株当たり 配当金	13.00円	14.00円	15.00円

## サイボウズの企業理念

### Purpose (存在意義)

チームワークあふれる  
社会を創る

### Culture (文化)

- 1.理想への共感
- 2.多様な個性を重視
- 3.公明正大 + 4.自主自律※
- 5.対話と議論※

※2024年3月30日開催 第27回定時株主総会に付議予定

## サイボウズのクラウドサービス

### グループウェア

#### サイボウズ Office

中小企業向け  
グループウェア

導入延べ  
78,600社

#### G Garoon

中堅・大規模組織向け  
グループウェア

導入延べ  
7,400社

### 業務システム構築プラットフォーム

#### キントーン kintone

ノーコード/ローコードで  
業務システムを実装できる  
プラットフォーム

契約中  
32,800社

### メール共有システム

#### メールワイズ Mailwise

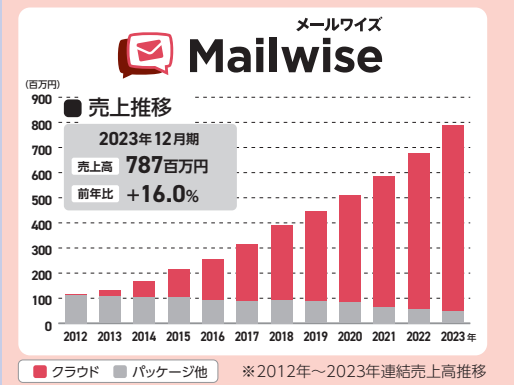
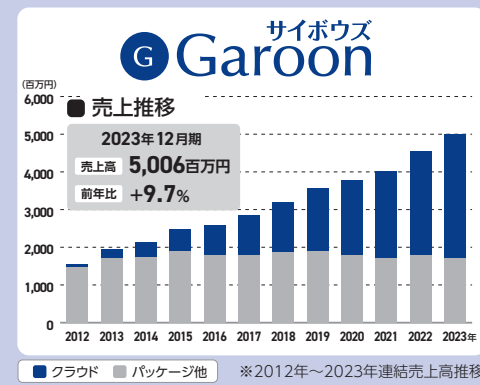
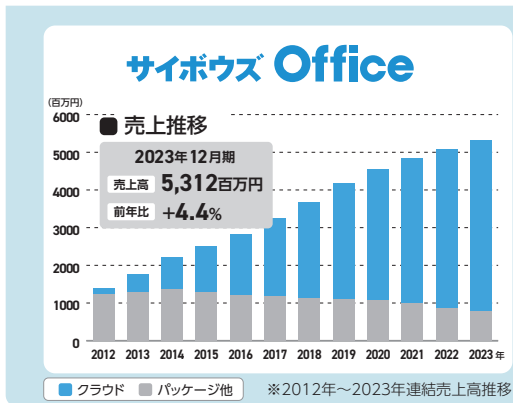
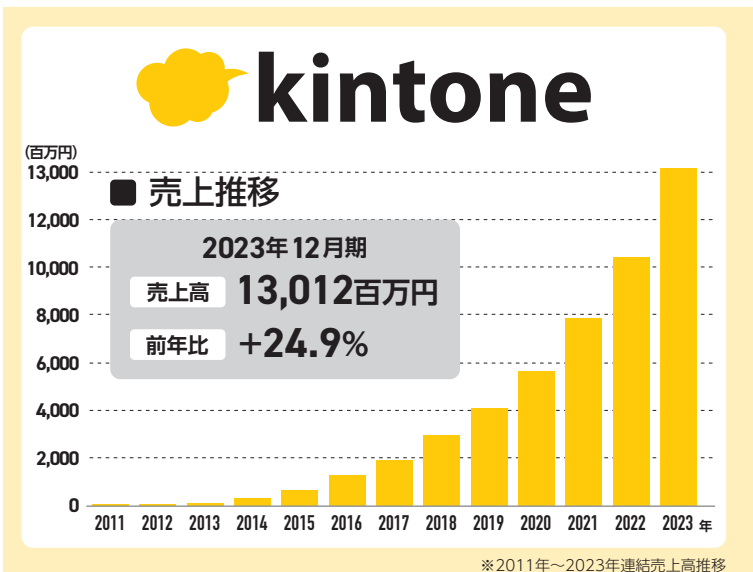
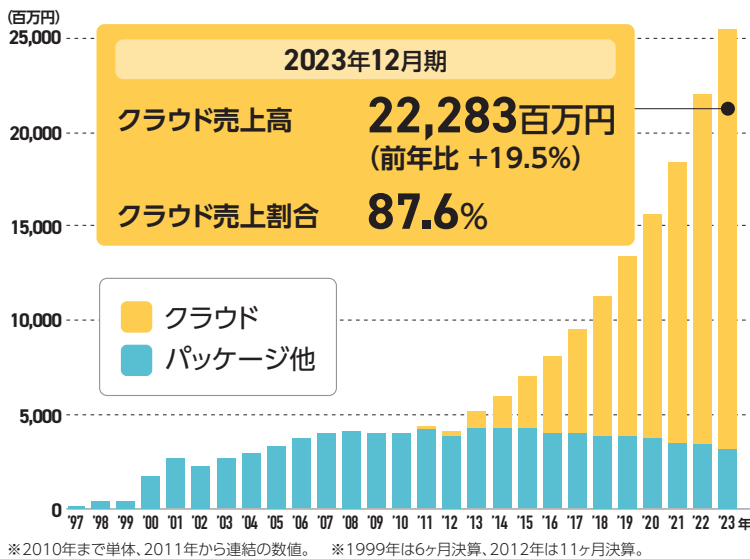
チームのメール対応を  
一元管理

導入延べ  
14,400社

※2023年12月末時点 ※kintoneはクラウドのみの販売。国内契約社数 ※kintone以外の製品は、パッケージ版/クラウド版を合算した国内延べ導入社数

# クラウドビジネスの拡大

2023年は連結売上高のうちクラウド売上が87.6%を占め、kintoneは130億円を超える売上高へ成長しています。その他の主力製品 サイボウズ Office、Garoon、メールワイズにおいても、クラウド売上が伸長しています。

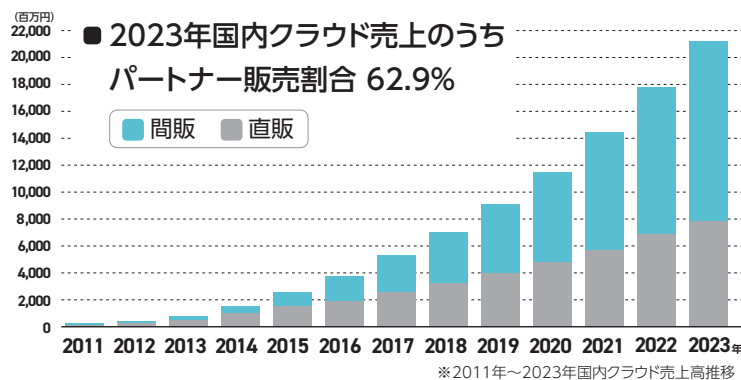


# パートナービジネスの拡大

サイボウズのビジネスは、コンサルティングパートナー企業やプロダクトパートナー企業等の皆さまに支えられています。2023年のパートナー企業経由の国内クラウド事業の売上高は13,410百万円と、パートナー企業の協力のもとでサイボウズ製品の利用が拡大しています。

連携サービス数  
**350以上**  
※2023年12月末時点

パートナー社数  
**約450社**  
※2023年12月末時点



# 外部評価

## ■ SOC2 Type1保証報告書を受領

2023年12月に、海外向けに提供するクラウドサービス「kintone」において、SOC2 Type1保証報告書を受領。米国公認会計士協会(AICPA)が定めたTrustサービス規準のうち「セキュリティ」などに関わる内部統制を外部監査人が第三者の立場として評価したものです。

## ■ 主な受賞

「日経BPガバメントテクノロジー 2023年秋号 自治体ITシステム満足度調査 2023-2024 グループウェア/ビジネスチャット部門」において、1位を獲得しました。通算9回目(2010年、2013～2018年、2021年、2023年)の獲得です。



# kintone活用の広がり

## 導入担当者の部門内訳



**93%** 非IT部門  
**7%** IT部門

※対象:2023年12月末時点で契約中

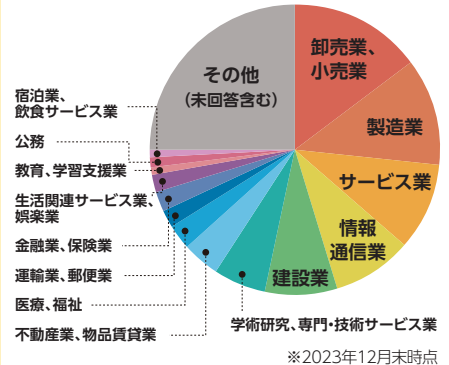
## 東証プライム企業導入状況

東証プライムの  
**3社に1社**が導入済み



※2023年12月末時点

## ユーザー企業 業種別割合



※2023年12月末時点

## ユーザーコミュニティがDXの質を高める

2020年に大企業向けkintoneユーザー会「kintone Enterprise Circle(略称:kintone EPC)」を設立し、参加社数は約25社になります。自社の課題や取り組みを参加社同士でアウトプットし、フィードバックや有益な情報、ノウハウを共有しています。

kintone EPC内の「DX人材育成分科会」で得られたノウハウを取りまとめ、DX人材育成に悩む企業に参考にしていただきたいという思いから、2023年8月に「DX人材育成ガイドライン」を作成・無料公開しました。ユーザーコミュニティの声やノウハウをもとに、ユーザーのさらなるDXを推進し、その輪を広げてまいります。

**無料公開中**

DX人材育成ガイドライン  
ノーコード活用の先進事例

第二版  
2023年10月  
サイボウズ株式会社

3.3.3. 候補者のアサイン (2/2)

DX人材育成分科会

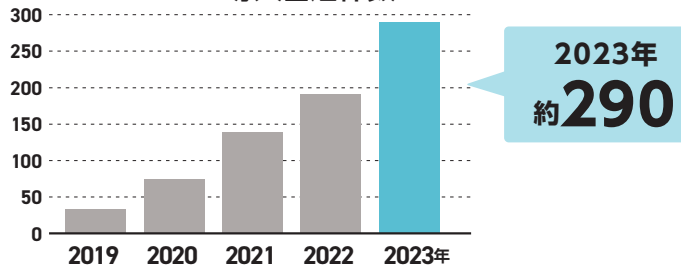
①: DX人材を集中配属する「強固な組織」  
②: DX人材を分散配属する「事業部門別組織」  
③: ①と②のミックス「マトリックス型組織」

<https://topics.cybozu.co.jp/news/2023/08/28-18547.html>

## 自治体DX・全庁導入を推進

2022年に発表した、自治体で全職員へ導入する場合に適用されるキャンペーン価格を継続し、2023年7月には、小規模市町村向けに特化したプログラムも開始しました。今後も本格導入や全庁展開を推進してまいります。

## kintone導入自治体数



## 地方銀行との協業拡大

地方銀行が地元企業へのICTコンサルティングとして、kintoneなどのサイボウズ製品を提案。地方銀行ならではの地元根差した経営支援ノウハウと、サイボウズのクラウドサービスをかけ合わせることで地元企業のDXを推進してまいります。

地方銀行協業数

**全国20行以上**

※2023年12月末時点

地銀コンサルティング実績

**約600社**で  
サイボウズ製品を導入

※2023年12月末時点

## kintone講座で次世代IT人材を育成

2016年春に最初のkintone講座を開設以降、ITや技術系の専門学校を中心に、kintone講座を導入する教育機関の支援を進め、導入校が増加しています。ITビジネス人材の育成を通じ、日本社会でのDXの実現に貢献してまいります。

講座を開設中の  
専門学校・大学

**23校**

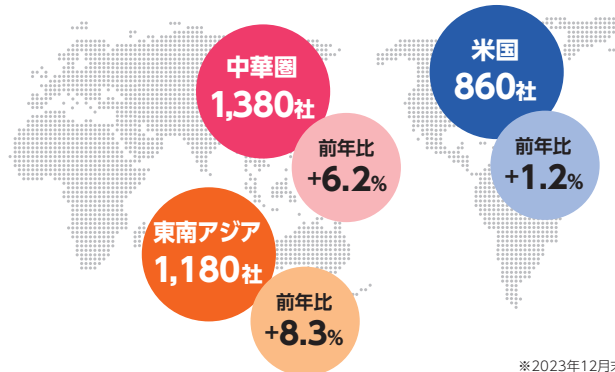
※2023年12月末時点

2023年度の受講生数

**約900人**

## グローバル展開

国内市場のみならず、グローバル市場での展開を強化しています。中華圏では、引き続き台湾が好調です。東南アジアでは、タイを筆頭にシンガポールやマレーシアでもローカル企業の受注件数が増加。富士フィルムビジネスイノベーション株式会社などのパートナーとの協業を軸に活動しています。米国では、株式会社リコーとの協業により、2月に「RICOH Kintone plus」をリリースしました。今後もパートナーとの連携を強化しつつ、グローバル展開を加速してまいります。

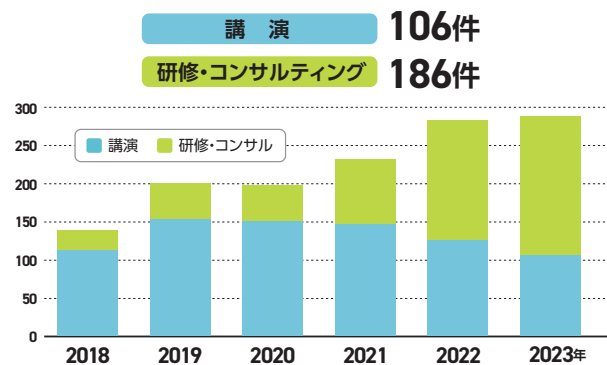


※2023年12月末時点  
※中華圏と東南アジアは延べ導入社数、米国は契約中のサブドメイン数

## メソッド事業活動

2023年も、IT活用から組織・風土改革まで、講演、研修・コンサルティングを通し、さまざまな組織のチームワーク強化に貢献しました。

### 2023年実績



## IR活動

8月に機関投資家や証券アナリスト向けのグループ面談を初開催しました。海外市場開拓や広告宣伝投資などの戦略や、国内外でのkintone販売推進といったトピックを中心に、皆さまから多くのご質問をいただき、充実した対話の場となりました。今後も、弊社の事業活動へのご理解をより深めていただけるようなIR活動を目指してまいります。



<https://cybozu.co.jp/company/ir/meeting/>

## 人事・組織関連のアップデート

### 広島オフィスを統合・移転開設

7月に、広島開発拠点と広島営業拠点を統合・移転し、広島オフィスを開設しました。広島を中心に開発・営業活動を強化し、中国地方での更なるビジネス拡大を目指してまいります。



### サイボウズ・コネクトシーを設立

6月に、カスタマーサポート機能の強化を目的に、サイボウズ製品の顧客サポートを担う子会社「サイボウズ・コネクトシー株式会社」を設立しました。

cybozu connect.C

## 会社概要

事業内容	「グループウェア」の開発・販売・運用／メソッド事業	資本金	613百万円
代表取締役社長	青野慶久	証券取引所	東証プライム [証券コード 4776]
創業	1997年8月	従業員数	1,276名(連結) 1,003名(単体) ※2023年12月末時点 ※役員除く無期雇用(正社員)の社員数
所在地	東京都中央区日本橋2-7-1 東京日本橋タワー	平均年齢	35.3歳 ※2023年12月末時点
拠点	東京、大阪、松山、名古屋、福岡、広島、仙台、札幌、横浜、大宮、上海、深圳、成都、台北、ホーチミン、サンフランシスコ、シドニー、バンコク、クアラルンプールなど	WEBサイト	<a href="https://cybozu.co.jp/">https://cybozu.co.jp/</a>